



2021年の防災を考えよう



1月17日で阪神・淡路大震災から26年。3月11日で東日本大震災発生から丸10年を迎えます。ウォーターネットでは1月～3月までを「防災啓蒙推進期間」としています。今まで「防災・減災」をご案内しておりますが、昨年の新型コロナウイルスにより、防災についても変化が出てきています。

コロナと災害

2020年に突如世界中を襲った“新型コロナウイルス” コロナ禍の中7月に発生した九州南部豪雨災害。これまでのように「避難所」に多くの方が密集すると、新型コロナウイルスの感染が広がるリスクが表面化し「防災のあり方」が問われました。

垂直避難、水平避難、分散避難など聞き慣れない避難方法もメディアなどで耳にする機会が増えました。いざ災害が発生したとき、慌てず避難するためにも、災害の種類や大きさに応じて避難場所や避難経路を確認しておくことも大切です。

何が変わった?

コロナ禍ではマスクや衛生用品などが品切れになりました。これにより、感染対策グッズを防災グッズに加えようとする方が増えました。衛生用品は100円ショップでも手軽に用意出来ます。



防災グッズを見直そう

感染症を防ぐため、今までの防災グッズに感染症対策も考えて見直してみよう。

マスク



除菌アイテム



体温計



使い捨てペーパー



ラップ



災害に対する備え
首相官邸 HP より



防災チェック
首相官邸 HP より

ローリングストック

防災グッズや非常食を置くスペースを用意せずに実施できる「ローリングストック」 普段の量より少し多めに購入し、消費しながら備蓄していくことで消費期限が過ぎるのを防いだり、普段使っている安心感もあります。食品だけではなく生活用品が防災グッズとして使えるものなら普段の生活サイクル取り入れやすいので、簡単に始められます。

ウォーターネットでは防災グッズも取り扱っています。



マイレットmini-10



ライフラインが止まってしまうと困るのはトイレ。小さく携帯できるものもあるので、普段のバックに備えておくと安心です。



※全15種類

ササケ

マジックライスシリーズ

マジックライスは5年間の長期間保存が可能。水でも調理が出来ます。ご飯がおかゆなど2通りの食べ方ができるものもあり便利です。

